

三原市役所新庁舎建設基本・実施設計業務委託の
公募型プロポーザルに係る調査審議の結果について

1 特定結果

次のとおり、特定者及び次点者を特定しました。

特定者	山下・NSP設計共同体 (株)山下設計 関西支社 (大阪府大阪市中央区南船場 2-3-2) (株)NSP設計 (広島市中区東千田町 2-9-57)
次点者	(株)佐藤総合計画 関西事務所 (大阪府大阪市中央区北浜東 1-26)

2 講評

このプロポーザルは、三原市役所本庁舎を現在地で建て替えるにあたり、三原市新庁舎建設基本計画に掲げる基本理念「瀬戸内をのぞむ シンプルで機能的な“まちづくりの拠点”」をめざして新庁舎を建設するための設計者を選定するために実施されたものです。

“敷地条件を活かす施設整備”について”及び“シンプルで機能的な建築物”についての2つの評価テーマを設定し、業務実施方針及び手法と併せて、7者に提案を求めました。

特定者の提案は、庁舎内の西野川沿いにテラスや多目的ラウンジ等を配置し、来庁者が良好な景観を見ながら手続きができるとともに、外から庁舎内の活動が見えやすい開かれた庁舎とする提案など、敷地条件を活かした提案が評価されました。また、スケジュール・コスト管理の方策に対する提案など、業務の実施方針が高く評価されました。また、質疑応答への的確な対応により、提案意図や内容理解が深まった点を評価する意見がありました。

構造計画や市民ニーズの把握方法に関する提案に課題があるとの意見もありましたが、各評価項目について相対的に高い評価を受けて、総合的に高い評価を得ました。

次点者の提案は、基本計画時より延べ面積を抑えて大きなフロア面積を確保し、7フロアとする提案で、高耐震構造という特徴がある提案でした。特定者の提案と甲乙つけがたい提案となっており、セットバックした外観で三原らしさを表現した点や、実施設計時においても市民ワークショップを継続開催する点が評価されました。

一方で、テラス、バルコニーを含めたトータルコストや、重要業務室等の業務継続機能の確保などに対する説明や提案に課題があるとの意見がありました。

上記2者の提案の他、制震構造の採用によりコスト縮減と工期短縮を両立させる提案を高く評価する意見がありました。また、セミラチスフロアと無柱フロアの2フロアを1組とする基準階構成の10階建の提案に対し、従来の庁舎とは異なる独創的な庁舎ができる期待感を感じるとの意見がありました。

全体的には、三原市新庁舎建設基本計画の考え方や敷地条件等をよく理解したうえで、各者ともにレベルの高い、意欲的な提案となっていました。

3 審議経過等

(1) 審議内容

ア 評価基準，評価要領の策定

“「①敷地条件を活かす施設整備」について”及び“「②シンプルで機能的な建築物」について”の2つの評価テーマを含め、評価基準及び評価要領等を策定

イ 技術提案書の提出者の選定（一次審査）

参加表明書の提出者（9者）について、資格要件を満たす者の中から、技術提案書の提出者を選定するための基準による評価を行い、技術提案書の提出者（7者）を選定

ウ 技術提案書の特定（二次審査）

提出された技術提案書（7者）について、公開ヒアリングを実施したうえで、技術提案書を特定するための基準による評価を行い、特定者及び次点者、各1者を特定

[審議経過]

平成 27 年 7 月 9 日(木)	選定委員会（第 1 回）	評価基準，評価要領の策定
平成 27 年 7 月 10 日(金)	公募型プロポーザル公示	
平成 27 年 7 月 24 日(金)	参加表明書の提出期限	9 者提出
平成 27 年 7 月 31 日(金)	選定委員会（第 2 回）	技術提案書の提出者の選定（7 者）
平成 27 年 8 月 3 日(月)	技術提案書の提出要請	
平成 27 年 8 月 20 日(木)	技術提案書の提出期限	7 者提出
平成 27 年 8 月 28 日(金)	選定委員会（第 3 回）	公開ヒアリング，技術提案書の特定

(2) 三原市役所新庁舎建築設計者選定委員会委員（順不同，敬称略）

区分	氏名	役職等	審査の視点
委員長	吉長 成恭	広島国際大学 教授	公共サービス調達
委員	龜谷 清	公益社団法人日本建築家協会中国支部 支部長	建築デザイン
委員	中山 昭夫	福山大学名誉教授 三原市庁舎整備検討委員会副委員長	建築構造
委員	錦織 亮雄	公益社団法人広島県建築士会 相談役	建築設計
委員	宮地 正人	広島県土木建築局 建築技術部長	建築行政
委員	池本 勝彦	三原市 副市長	施設主管
委員	古地 昌彦	三原市 副市長	施設主管